

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	PARC(パルク)あしや			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の主体性を尊重し、通所することが楽しみとなる場所となっていること。	子ども達の興味や意欲のある活動を実現できるよう、特性や性格、年齢等に応じた支援を取り入れている。	現在の取り組みを継続しながら、職員からの提案の幅を増やしたり玩具・遊具を充実させたりしていく。
2	保護者とのコミュニケーションを密に図り、特性や困り事に対する対応方法の提案を行っていること。	子育てや発達支援に関連することだけでなく幅広いコミュニケーションを図ることで、話しやすい関係性づくり、雰囲気づくりに努めている。 保護者同伴での利用であるため、相談支援の機会を十分に確保することができている。	引き続き密なコミュニケーションを図りながら、相談支援の内容についても職員間できめ細かく共有していく。
3	行事やイベントを実施するなど、子どもたちの意欲を引き出せるような環境設定となっていること。	季節の行事だけでなく、子どもたちの興味関心や流行などを反映したイベントを実施するようにしている。 運動や制作活動、生活習慣など幅広い経験ができるようイベントを組んでいる。	今後も選択肢の幅が広がり、子どもたちが様々な経験を積めるようなイベントを実施していく。 子どもたちや保護者の意見も募り、イベントに繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子育て経験のある職員が少ないため、子どもの思いに寄り添う療育は行えるが、保護者の思いや困り感に十分に寄り添えていない可能性がある。	在籍している職員の性別や年齢層が似通っている。	他の保護者の様子や意見などを同意を得ながら情報として提供できるようにしていく。 同一法人内での事業所間連携を行い、職員の強みや個性を活かした支援ができるようにしていく。
2	利用児の主体性を尊重する一方で、指導員から活動の選択肢を十分に提示できていないことがある。	予め組まれたプログラムを提供するのではなく、子ども自身の主体的な活動選択と自己決定を大切にしているため。	事例検討やケース会議の機会を増やし、活動の固定化が見られる子どもに対しては新たな活動の提案の仕方について検討していく。 子どもたちが興味を持って取り組めるような提案・提示となるよう工夫していく。
3	利用者の来所・降所時間が重なり出入口付近が混雑してしまう時間帯がある。	利用枠の確保のため、入れ替え時間が短くなっており、また玄関スペースが限られているため。	職員間、保護者との間で予定を共有し、子どもに対しても見通しを持って行動できるよう予定や時間を伝えていく。